

2012 年度 事業報告書

1 柔道の国際的普及、振興に関する事業		事業報告																						
ア 柔道用具(リサイクル柔道衣・畳)支援事業																								
内容	東海大学の協力を得て世界の柔道発展途上国へ柔道用具(リサイクル柔道衣・畳他)の送付を行ない、日本の心を伝える。	① リサイクル柔道衣 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr><td>ミャンマー</td><td style="text-align: right;">100 着</td></tr> <tr><td>スワジランド</td><td style="text-align: right;">50 着</td></tr> <tr><td>エジプト</td><td style="text-align: right;">60 着</td></tr> <tr><td>サモア</td><td style="text-align: right;">50 着</td></tr> <tr><td>コロンビア</td><td style="text-align: right;">50 着</td></tr> <tr><td>ブラジル</td><td style="text-align: right;">50 着</td></tr> <tr><td>ラオス</td><td style="text-align: right;">20 着</td></tr> <tr><td>エルサルバドル</td><td style="text-align: right;">50 着</td></tr> <tr><td>アフガニスタン</td><td style="text-align: right;">50 着</td></tr> </table> ② リサイクル畳 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr><td>ミャンマー</td><td style="text-align: right;">99 畳</td></tr> <tr><td>コロンビア</td><td style="text-align: right;">115.5 畳</td></tr> </table>	ミャンマー	100 着	スワジランド	50 着	エジプト	60 着	サモア	50 着	コロンビア	50 着	ブラジル	50 着	ラオス	20 着	エルサルバドル	50 着	アフガニスタン	50 着	ミャンマー	99 畳	コロンビア	115.5 畳
ミャンマー	100 着																							
スワジランド	50 着																							
エジプト	60 着																							
サモア	50 着																							
コロンビア	50 着																							
ブラジル	50 着																							
ラオス	20 着																							
エルサルバドル	50 着																							
アフガニスタン	50 着																							
ミャンマー	99 畳																							
コロンビア	115.5 畳																							
イ 柔道文献の翻訳事業																								
内容	「姿三四郎」の翻訳、及び自費出版を行い広く配布する。	日本文藝家協会及び本法人も富田家に出版内諾書の取り付けをお願いしていたが、富田家の反応がなく(2013 年 3 月末)、内諾書は取り交わされていない事から、この事業は今限りで終了する。																						
ウ 教材制作事業																								
内容	日本語版「柔道教則本」作成準備 ※2011 年度作成した中国語版教則本をもとに和文版を完成し、他言語に訳すための基本版とする。	写真撮影が終了し、原稿修正作業継続中。																						
エ 外国からの指導者・選手受入支援事業【中国・ロシア以外の諸外国からの受入れ】																								
内容	外務省や国際交流基金、東海大学、望星学塾(松前柔道塾)等と協力して外国人指導者を受け入れる。 1) イスラエル・パレスチナ若手指導者の受入れ 2) アフガニスタン女性選手の受入れ 【昨年度より継続事業】	① イスラエル・パレスチナのコーチ各 1 名ずつ 2012 年 11 月から 12 月末受入した。 ② アフガニスタン女子選手は 6 月 1 日帰国した。																						
オ 外国への指導者派遣事業																								
外務省や国際交流基金、東海大学等からの協力を得て柔道指導者(学生ボランティア含む)を海外へ派遣する。																								
1)一般指導者派遣【中国・ロシア以外への指導者派遣】																								
内容	■イスラエル・パレスチナへの派遣 ■ミャンマーへの派遣	① 2012 年 6 月 外務省の文化・スポーツミッションで派遣された本法人理事長山下泰裕を支																						

	<ul style="list-style-type: none"> ■グアムへの派遣 ■中国(青島・南京)への派遣 	<p>援した。</p> <p>② 2012年9月 グアムへ橋本敏明教授と山口輝義コーチを派遣した。</p> <p>③ 2013年1月 イスラエル・パレスチナへ立命館大学柔道部監督春日俊先生を派遣した。朝飛大先生を中国青島友好柔道館と南京友好柔道館に派遣した。</p>
2)学生ボランティア派遣		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ミャンマーへの派遣 ■グアムへの派遣 ■中国青島市・南京市及びアジア諸国への派遣 	<p>① 2012年9月 井坪佳祐・工藤優宗をミャンマーへ派遣した。</p> <p>③ 2012年9月 佐藤優作・野口竜光をグアムへ派遣した。</p> <p>④ 2013年3月 本間大地・川野聖人を中国南京・青島へ派遣した。</p>
カ 会報誌の発行		
内容	柔道の国際的普及活動等を会員や一般市民に広報するための会報誌を発行する。	<p>① 会報誌 12号は9月発行</p> <p>② 会報誌 13号は3月発行</p>
キ 講演会事業		
内容	当法人の目的にそった内容の講演会を開催する。	<p>① 2012年5月31日に山下理事長による講演会を行った。</p> <p>② 2012年12月7日に長田渚左さんの講演会を行った</p> <p>③ 講演会録作成のための英訳及び過去の講演録の増刷を行った</p>
ク 柔道の国際的普及・振興に関する調査事業費		
内容	2012年度は計画なし。	なし
ケ 国際柔道研究者会 (IAJR) 支援事業		
内容	2012年ロンドン五輪で開催予定のシンポジウムに山下理事長を派遣する	① 2012年8月のロンドン五輪開催中 IAJRの会合に出席
2柔道を通じての文化交流、異文化理解の推進事業		事業報告
ア 中国・日中友好支援事業		
内容	日中青島友好柔道館支援・日中南京友好柔道館支援事業など中国の柔道普及に係る支援をする。	① 2013年2月、日中友好青島柔道館の男子高校生チームが福島女川町で開催された大会に参加、その後東海大学で交流した。
イ 日露友好支援事業		
内容	<p>① ロシア女子コーチ2名の受入れを継続し、柔道の指導法や日本語の習得の支援をする。</p> <p>② 継続事業でロシア女子コーチ2名の受入れをし、柔道の指導法や日本語の習得を支援する。</p>	<p>① オシェプロフ生誕120周年記念行事を開催した。(2012.9) 於ウラジオストク</p> <p>② 1)女性コーチ 2011年11月～2013年6月まで受入した。</p> <p>2)女性コーチ 2012年12月～2013年6月まで受入した。</p>

ウ 海外柔道普及支援事業		
内容	中国・ロシア以外の柔道普及にかかわる支援をする。 ① カナダ少年チーム ② ミャンマー指導者及び選手の受入 ③ モンゴル男子選手の受入	① カナダ少年チーム 2013 年 3 月 11 日来校した。 ② ミャンマー男子柔道チーム 6 名 2013 年 3 月 2 日～3 月 31 日まで受入した。 ③ モンゴル男子チーム 3 名 2013 年 3 月 1 日～29 日まで受入した。
エ 留学生柔道体験		
内容	東海大学留学生他、内外の留学生を対象とした柔道教室	実施せず。
3柔道による青少年育成事業		事業報告
ア 柔道教室(国内外)		
内容	東海大学望星学塾等と、少年少女柔道教室を共催する。 ① 2012 年夏 International Goodwill Week (松前柔道塾国際親善週間) 留学生研修プログラムを共催する。 ② 望星旗柔道大会を共催する。(2012 年 10 月 21 日) ③ 塾友杯柔道大会を共催する。(2012 年 12 月 2 日) ④ 宮城県山下旗柔道大会を共催する。(2012 年 7 月 8 日) ⑤ ジャンボリー柔道大会(2012 年 8 月 25 日・26 日)	① 2012 年夏 International Goodwill Week (松前柔道塾国際親善週間) 留学生研修プログラムを共催した。 ② ジャンボリー柔道大会を支援した。(2012 年 8 月 25 日・26 日) ③ 宮城県山下旗柔道大会を共催した。(2012 年 7 月 8 日) ④ 望星旗柔道大会を共催した。(2012 年 10 月 21 日) ⑤ 塾友杯柔道大会を共催した。(2012 年 12 月 2 日) ⑥ 大船渡柔道教室を支援した。(2012 年 12 月 15 日)
イ 柔道シンポジウム(講演会活動を含む)		
内容	山下理事長による、柔道関係者及び日本人などを対象にミャンマーで講演会と柔道教室を開催する	2012 年 6 月、外務省文化スポーツ交流ミッションでミャンマーに派遣された際、柔道関係者及び日本人などを対象に講演会と柔道教室の開催を支援した。
ウ 指導者養成研修会		
内容	武道必修化にあたり、研修会時に使用する資料作成費用	「柔道への想い」資料作成済 及び国内海外へ無料配布継続中